

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <http://rkb.jp/holdings>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画局長 (氏名) 古賀 輝

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,468	2.0	1,021	45.0	1,114	42.7	711	△5.3
29年3月期第2四半期	12,227	5.7	704	116.0	781	95.7	751	854.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 865百万円 (24.3%) 29年3月期第2四半期 696百万円 (77.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	324.62	—
29年3月期第2四半期	342.83	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	45,039	70.4	32,346	70.4	—	—
29年3月期	45,722	67.9	31,682	67.9	—	—

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 31,687百万円 29年3月期 31,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	90.00	90.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,770	0.2	2,230	2.6	2,350	1.9	1,440	△19.1	656.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	2,240,000 株	29年3月期	2,240,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	47,544 株	29年3月期	47,504 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	2,192,486 株	29年3月期2Q	2,192,825 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境などは改善傾向にあり、緩やかな景気回復の状況が続いております。

そのような状況の中、主に放送事業、その他事業収入が前年を上回りました。また営業費用についても、システム関連子会社において退職金制度変更に伴い費用が減少したことにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は124億68百万円(前年同期比 2.0%増)で増収となり、営業利益は10億21百万円(前年同期比 45.0%増)、経常利益は11億14百万円(前年同期比 42.7%増)といずれも増益となりました。ただし、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にあった放送設備購入補助金の受取りに伴う特別利益がなく、7億11百万円(前年同期比 5.3%減)で減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入83億45百万円(前年同期比 1.9%増)、営業利益8億20百万円(前年同期比 7.0%増)となりました。

テレビ部門は、収入73億11百万円(前年同期比 2.5%増)となりました。タイム収入は4.8%増、スポット収入も1.3%増となりました。業種別では、食品、流通・小売、通信・アプリなどが落ち込んだものの、輸送機器、住宅・建材などが伸びました。

ラジオ部門は、収入10億34百万円(前年同期比 1.8%減)となりました。制作収入はイベント等の実施により24.8%増となったものの、スポット収入が12.5%減、タイム収入が2.7%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入20億61百万円(前年同期比 1.0%減)、営業利益1億26百万円(前年同期は営業損失1億38百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、機器販売等が増加したものの、自治体向けソフトウェア開発の受注が減少し、減収となりました。利益面では、退職金制度変更に伴い費用が減少したことにより、大幅な増益となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入5億30百万円(前年同期比 1.1%増)、営業利益5億32百万円(前年同期比 1.8%減)となりました。

賃貸料収入の増加により増収となったものの、RKB放送会館の修繕を行ったことによる費用の増加もあり減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入15億30百万円(前年同期比 6.9%増)、営業損失16百万円(前年同期は営業利益4百万円)となりました。

催事部門では、創立65周年記念事業のフィナーレを飾るイベントとして、芸術花火大会「シーサイドももち花火ファンタジアFUKUOKA」をももち浜で開催し、約25,000人の入場者を集めました。このほか、鳥栖市民文化会館で故蜷川幸雄演出のシェイクスピア劇「NINAGAWA・マクベス」、福岡市博物館で「黄金のファラオと大ピラミッド展」などを開催し、増収となりました。利益面では前年同期にあった利益率の高いイベントの減少があり、営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億83百万円減少し、450億39百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億74百万円、投資有価証券が2億14百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が10億58百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ13億47百万円減少し、126億92百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が4億86百万円、未払消費税等が4億37百万円、未払法人税等が4億2百万円、減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億64百万円増加し、323億46百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を7億11百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,938	8,313
受取手形及び売掛金	4,180	3,122
有価証券	9	39
たな卸資産	115	263
その他	3,212	3,118
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,456	14,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,922	6,782
機械装置及び運搬具(純額)	966	933
土地	13,320	13,320
その他(純額)	1,173	1,097
有形固定資産合計	22,382	22,133
無形固定資産	265	255
投資その他の資産		
投資有価証券	5,318	5,532
その他	2,299	2,262
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,616	7,794
固定資産合計	30,265	30,183
資産合計	45,722	45,039
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366	296
未払法人税等	757	355
その他	3,582	3,213
流動負債合計	4,706	3,865
固定負債		
退職給付に係る負債	5,893	5,407
その他	3,440	3,419
固定負債合計	9,334	8,827
負債合計	14,040	12,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	29,354	29,868
自己株式	△182	△182
株主資本合計	29,736	30,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,441	1,542
退職給付に係る調整累計額	△129	△105
その他の包括利益累計額合計	1,312	1,437
非支配株主持分	633	658
純資産合計	31,682	32,346
負債純資産合計	45,722	45,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,227	12,468
売上原価	7,434	7,348
売上総利益	4,793	5,120
販売費及び一般管理費	4,089	4,099
営業利益	704	1,021
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	66	70
その他	16	23
営業外収益合計	83	94
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	4	1
営業外費用合計	6	1
経常利益	781	1,114
特別利益		
補助金収入	145	-
特別利益合計	145	-
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	-	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	925	1,112
法人税等	179	372
四半期純利益	745	740
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	751	711

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	745	740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	101
退職給付に係る調整額	38	23
その他の包括利益合計	△49	125
四半期包括利益	696	865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	702	836
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,188	2,082	524	1,431	12,227	—	12,227
セグメント間の内部売上高 又は振替高	95	29	420	624	1,169	△1,169	—
計	8,283	2,111	945	2,056	13,397	△1,169	12,227
セグメント利益又は損失(△)	766	△138	542	4	1,175	△470	704

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△470百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入139百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△610百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,345	2,061	530	1,530	12,468	—	12,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102	33	425	639	1,201	△1,201	—
計	8,448	2,095	956	2,170	13,670	△1,201	12,468
セグメント利益又は損失(△)	820	126	532	△16	1,463	△441	1,021

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△441百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入133百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△575百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	7,207	77.7	7,386	77.1	178	2.5
ラジオ収入	1,076	11.6	1,061	11.1	△14	△1.3
その他の収入	995	10.7	1,126	11.8	130	13.1
合計	9,279	100.0	9,574	100.0	294	3.2